

麻生リハビリ総合病院だより



<https://www.souseikai.net/rehabilitation>

総生会 理念 常に最善を飽くことなく追求し 質の高い安心の医療を提供する



新年のご挨拶

麻生リハビリ総合病院
病院長 菅 直樹

新年明けましておめでとうございます。旧年中は地域の皆様方には格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

昨年新型コロナウイルス感染症の大流行とともに、皆様方の生活様式は一変されたことと思われます。当院でも院内感染対策にて、ご家族様と面会ができなくなったことにより入院生活に不安を感じる患者様が多く、早急にオンライン面会を導入致しました。患者様の状態改善の原動力にはご家族様の支えがいかに大切なことかを改めて痛感致しました。

こんなコロナ禍、昨年10月に、当院は開院20年目を迎えることができました。これも地域の住民の方々、近隣の急性期病院やクリニック、療養型病院、介護関係などの方々のご支援があったからこそ実現できたことです。この場をお借りしまして心より感謝申し上げます。



当院は180床すべてが回復期リハビリ病棟で、川崎市では最大規模の回復期リハビリテーション病院であります。回復期リハビリ病棟は、急性期病院などで治療された脳卒中や骨折などの患者様へ、質の高いリハビリをご提供し、在宅復帰を目指すための病院です。当院の診療実績(患者様一人が1日に行えるリハビリ時間など)は高いということで、2021年10月24日、読売新聞の回復期リハビリテーション病院の特集記事に『病院の実力 神奈川編』として掲載されました。また、当院では患者様へ提供できるリハビリ時間が長いだけでなく、質も追及しております。リハビリの質を上げるために職員が常に研修や学会などに参加しブラッシュアップできる環境を整えると共に、リハビリロボットなどの導入も行っております。

回復期リハビリ病棟の役割は、急性期病院から脳卒中や骨折などの患者様を早急に受け入れ、個々の患者様に対して医学的管理の下で各職種(医師、看護師、看護補助者、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、薬剤師など)でチームを構成し、質の高い十分なリハビリテーションや看護ケアなどを提供し、患者様の機能向上・ADL(日常生活動作)向上、さらには高いQOL(生活の質)を目指すことであります。当院では、ご退院された患者様が更なるリハビリテーションを必要とされた場合には、訪問リハビリや外来リハビリもご提供できる体制を整えております。そのために何年にも渡ってリハビリスタッフの増員を行ってきており、現在は理学療法士・作業療法士・言語聴覚士合わせて100人以上在籍しております。患者様ひとり一人が人間らしい生活や自分らしい生活に戻れるよう、できる限りの支援をさせていただいております。

また川崎市では年々、要介護高齢者が増加しております。独居の方も増えており、このような方々には適切なリハビリが必要ですが、実際には満遍なくリハビリの提供ができていないのが現状です。そこで昨年、川崎市では市内8か所に地域リハビリテーション支援拠点施設を設け、当院もその1か所に選出されました。地域リハビリテーション支援拠点施設の役割は、リハビリ専門職が介護支援専門員等の求めに応じて、利用者宅への訪問やカンファレンスへの同席、介護サービス事業所への助言等を行いながら、サービス導入に必要な評価やサービス内容の調整等を支援することです。また医療機関・介護保険施設・居宅介護サービス事業所・地域包括支援センター等が実施する地域住民を対象とした事業等に対して、リハビリ専門職が助言等を行いながら地域のリハビリテーションの活性化を図ります。つまり、当院では自院の患者様へはもちろんのこと、地域でリハビリテーションを必要としている利用者様が適切なリハビリテーションを受けることができるよう、マネジメントを行っております。

昨年のこの地域リハビリテーション支援拠点施設の設置は、川崎市にとって地域包括ケアシステムを前進させる画期的な取り組みと思われます。当院でも可及的に地域リハビリテーション支援拠点施設の役割を担って、地域の皆様へ質の高いリハビリテーションをご提供できるように取り組んでまいります。

最後に、今年はコロナが落ち着き、皆様にとりまして幸多い年になりますよう祈念しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。どうぞ今年もあたたかいご支援とご助言を心よりお願い申し上げます。



菅 直樹

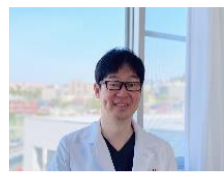
Pick up!

医師紹介

8つの質問で当院医師の紹介をさせていただきます♪

質問 ①出身地 ②好きな季節 ③今、1番欲しいもの ④これがないと困る!もの
項目 ⑤好きな場所 ⑥好きな時間の使い方 ⑦好きな果物 ⑧苦手なもの・こと

整形外科



菅 直樹

病院長
人工関節センター長

日本整形外科学会専門医
日本リウマチ学会専門医
日本リウマチ財団登録医
日本整形外科学会認定リウマチ医
日本人工関節学会認定医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本整形外科学会認定スポーツ医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医



- ①神奈川県横浜市
- ②冬(スキーができるから)
- ③美味しい赤ワイン
- ④トイレトペーパー
- ⑤居酒屋
- ⑥お風呂タイム
- ⑦キウイフルーツ
- ⑧ゴキブリ



長瀬 清弘

日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医
日本人工関節学会認定医
日本リウマチ学会専門医
日本体育協会認定スポーツドクター
日本整形外科学会認定リウマチ医
日本整形外科学会認定スポーツ医
日本医師会認定産業医



- ①神奈川県
- ②春
- ③時間
- ④酒
- ⑤温泉
- ⑥ゆっくり読書
- ⑦なんでも
- ⑧納豆

リハビリテーション科



伊藤 大起

リハビリテーション科部長

日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医・指導医



- ①東京都
- ②春・秋
- ③レモンの木
- ④休日
- ⑤山道
- ⑥炭火を熾してる時
- ⑦桃、さくらんぼ
- ⑧湯葉



西川 洋介

日本リハビリテーション医学会認定臨床医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士



- ①静岡県
- ②冬(スキーができるから)
- ③余裕
- ④アイスクリーム
- ⑤子供のとなり
- ⑥慶良間の海中に浮いている時
- ⑦びわ
- ⑧へび、納豆、しらす



長屋 博重

日本リハビリテーション医学会認定臨床医
日本整形外科学会認定整形外科専門医
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医



- ①岐阜県
- ②夏(夏生まれなので)
- ③キャンピングカー
- ④ペット用品
- ⑤北海道、ケアンズ
- ⑥ペットの世話
(デグー、インコ)
- ⑦メロン
- ⑧納豆、高い所(吊り橋)



柘倉 未知

日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医・指導医



- ①新潟県
- ②秋
- ③ソロキャンプ道具
- ④仕事
- ⑤自宅のベランダ
- ⑥目的のない散歩
- ⑦いちじく
- ⑧大人の言い争い

脳神経外科



田中 英明

診療部長

日本脳神経外科学会
脳神経外科専門医



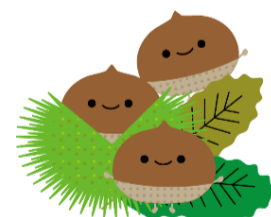
- ①北海道河東郡
- ②北海道の初夏
- ③長期休暇でぼっち旅
- ④ナナちゃん(愛犬)
- ⑤タカミナ・カプリ島・ベネア
- ⑥旅・読書・美味しい料理とお酒
- ⑦なんでも
- ⑧辣韭

脳神経内科



保坂 和子

日本内科学会認定医
日本神経学会専門医



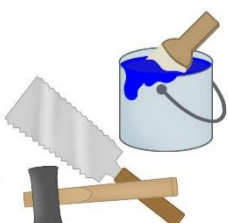
- ①島根県松江市
- ②特になし
- ③特になし
- ④スマホ
- ⑤特になし
- ⑥おいしい物を食べる
- ⑦栗
- ⑧特になし

内科

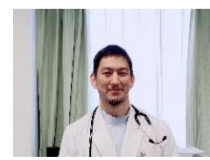


田中 康文

日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医



- ①長野県
- ②四季すべて
- ③部屋
- ④コーラ
- ⑤ホームセンター
- ⑥日による
- ⑦なんでも
- ⑧人前に出ること



藤田 匡邦

日本内科学会認定医・専門医
日本内科学会総合内科専門医



- ①福井県
- ②夏(海・川)
- ③筋肉
- ④水
- ⑤温泉
- ⑥ジム
- ⑦ぶどう
- ⑧不衛生なもの

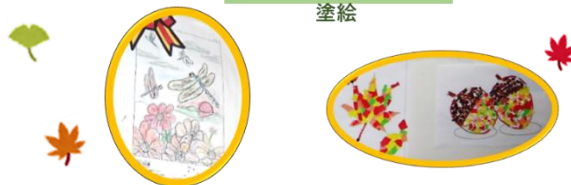
【10月】秋の「文化展」開催

書道・塗絵・俳句の3部門から作品を募り、壁一面に掲示され院内にも秋が訪れました。

秋色に彩られた作品は患者様をはじめ職員も足を止める姿が多く見られました。

投票も行われ、選ばれた作品には印が貼られました。

室内でも季節を感じられる院内レクリエーションは、患者様に大変ご好評をいただいております。



オンライン面会継続中

現在、当院では面会の制限を行っておりますが、患者様、ご家族様に少しでも安心していただけるように、タブレット端末を使用したテレビ電話によるオンライン面会を実施しております。(予約制)

ご家族様はお持ちの端末を使って、ご自宅から院内の患者様と面会が可能です。

インターネット環境がないご家族様は、院内のタブレット端末をご利用いただけます。

海外など遠方にお住まいのご家族ともインターネット環境があれば面会可能です。



病棟の患者様



ご自宅 または 当院1階

直接お会いできない状況が続く中で、顔を見て話すことで、患者様、ご家族様共に安心される様子がうかがわれます。

病院食紹介 ~お月見~

今年のお月見献立(常食)には月見蕎麦に、かわいいウサギの和菓子が提供されました。目で見て楽しい、食べておいしい、季節を感じるお食事をお届けしています。



月:黄桃/ウサギ/白餠

面会制限緩和のお知らせ

2021年12月15日より、面会制限を一部解除し、対面面会を再開しております。(事前予約制)

面会条件等、詳細はホームページをご確認ください。

なお、感染症発生状況等により、制限を変更する場合がございます。

何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

《面会のご予約》 [電話:044-981-6878\(代表\)](tel:044-981-6878)

受付時間 14:00~17:00 (月~土曜日)

☆オンライン面会 または 対面面会のどちらかお伝えください。

News

読売新聞「病院の実力 神奈川編」に当院が掲載されました!

回復期リハビリテーション病院として、神奈川県内や全国的に見ても治療実績が高いことから注目いただき、リハビリテーション科部長である伊藤大起医師を中心に取材をお受けしました。

記事は10月24日の読売新聞に掲載されています。当院ホームページの10/25付お知らせでも公開しております。(該当ページは下記QRコードでご確認いただけます。)

これからも患者様のために、より良い治療・リハビリテーションを提供できるように努めて参ります。

10月24日 読売新聞の記事についてはこちら



取材を受ける伊藤医師

診療実績のご報告

直近6ヶ月(2021年4月～2021年9月)の診療実績報告です。

「回復期リハビリテーション病棟入院料I」では、実績指数40以上が要件となっていますが、大幅に上回る実績指数をキープしています。在宅復帰率も80%を超える高い実績となっています。

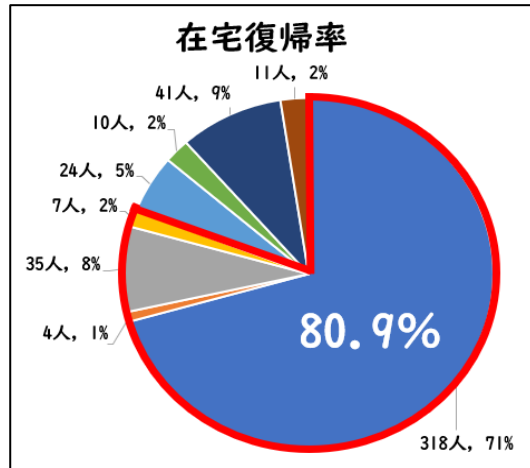
回復期リハビリテーション病棟入院料Iの実績要件		診療実績
リハビリテーション実績指数	40以上	51.0
自宅等に退院する割合	7割以上	80.9%
重症者の割合	3割以上	49.3%
退院時の日常生活機能評価4点(FIMI6点)以上改善	3割以上	77.0%

実績指数

2019/1～ 2019/6	2019/4～ 2019/9	2019/7～ 2019/12	2019/10～ 2020/3	2020/1～ 2020/6	2020/4～ 2020/9	2020/7～ 2020/12	2020/10～ 2021/3	2021/1～ 2021/6	2021/4～ 2021/9
43.1	44.9	46.2	44.9	45.8	48.7	54.5	54.4	50.1	51.0

在宅復帰率 (退院先内訳)

在宅復帰	退院先	2021年4月～9月		在宅復帰率
		人数	割合	
在宅復帰	自宅	318人	70.7%	80.9%
	特別養護老人ホーム	4人	0.9%	
	有料老人ホーム	35人	7.8%	
	グループホーム	7人	1.6%	
	高齢者専用賃貸住宅	7人	1.6%	
	急性期病院	24人	5.3%	
	慢性期病院	10人	2.2%	
	介護老人保健施設	41人	9.1%	
	その他	11人	2.4%	
	合計	450人	100.0%	



実績指数とは

ADLの評価法の1つであるFIM(機能的自立度評価法)を用いて、入棟期間中にFIM運動項目がどれだけ改善したかを指標化したものです。入院している期間が短いほど、また、ADLの改善度が大きいほど実績指数は高くなり、数値が高い病院ほど、短期間で効果の高いリハビリテーションを提供する病院と言えます。2016年の診療報酬改定で導入され、当院が届出をしている施設基準「回復期リハビリテーション病棟I」では2020年の診療報酬改定で、実績指数が40以上であることが要件とされています。

また、実績指数は下記の計算方法で表すことができます。

$$\text{実績指数} = \frac{\text{退院時のFIM運動項目の得点} - \text{入院時のFIM運動項目の得点}}{\text{各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数}}$$

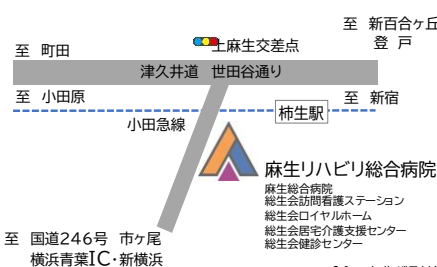
FIMとは

「Functional Independence Measure」略語で、日本語で「機能的自立度評価法」という意味になります。FIMの評価項目は、運動項目と認知項目の計18項目で、各項目を1点～7点の7段階で評価します。コミュニケーションや社会的認知などの認知項目を含むため、実際に日常生活で行っている動作を評価する、変化を確認するのに最適な評価方法です。

ADLとは

「Activities of Daily Living」の略語で、日本語では「日常生活動作」という意味になります。日常生活を送るために最低限必要な日常動作で、「起居・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」といった動作のことです。

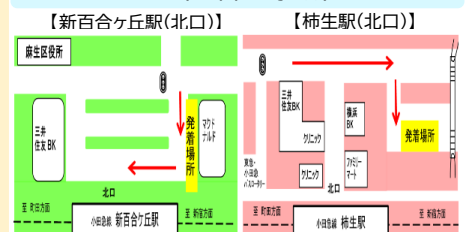
交通のご案内



～シャトルバス運行中～
 【運行日】月曜日～土曜日(日・祝日を除く)
 バスは20分間隔で運行いたします
 【所要時間】
 新百合ヶ丘駅(北口) ⇔ 麻生リハビリ総合病院 約15分
 柿生駅(北口) ⇔ 麻生リハビリ総合病院 約10分

小田急線 新百合ヶ丘駅・柿生駅より無料のシャトルバスをご利用ください!

乗降場所



◆シャトルバスは道路事情により運行が遅れる場合があります。車いすの患者様もご利用いただけます(新百合ヶ丘駅発着のみ) 運行時刻など、詳細はお気軽にお問合せください。

医療法人社団 総生会 麻生リハビリ総合病院

〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生 6-23-50
 TEL (044)981-6878 / FAX (044)981-6871
<https://www.souseikai.net/rehabilitation>



第6号 院外広報誌
 発行日:2022年1月1日
 発行者:広報委員会

